

# 柿園管理情報 第2号

令和5年4月24日  
城端果樹協会  
砺波農林振興センター

## 1 防除について

柿の生育は前年、平年より6日程度早まっています。展葉期はハマキムシ類やカキクダザミウマの防除適期です。

以下を参考に防除を行ってください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	10a当り散布量	100リットル当り薬量
4月30日頃 (展葉期)	ハマキムシ類 カキクダアザミウマ	アタブロンSC	4,000倍	350㍓	25ml
5月15日頃 (開花直前)	落葉病 炭そ病	トレノックスフロアブル	500倍	350㍓	200ml

### <注意事項>

- ①カイガラムシ類多発園では4月下旬にアプロード水和剤(1,000倍、開花期まで、年2回以内)を散布してください。
- ②アザミウマ類多発園ではアタブロンSCに替え、アクタラ顆粒水溶剤(2,000倍、年3回以内)を散布してください。
- ③畦畔柿では、アタブロンSC、トレノックスフロアブルが使用できないので、トップジンM水和剤(1,000倍、年6回以内)を使用してください。
- ④散布に当たっては、希釈倍数や対象病害虫など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。
- ⑤農薬散布時は、周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では、登下校時の時間帯等に十分注意してください。

## 2 平核無・刀根早生の摘蕾について

2L以上の果実にするために、平核無・刀根早生は摘蕾を行い、果実肥大を促進しましょう。

開花が始まると軸が硬くなり作業がしにくくなるので、以下を参考に早めに摘蕾を行ってください。

- ①摘蕾時期は、軸の軟らかい開花前までに行う。
- ②残す蕾は、1新梢のうち、1蕾とする。
- ③新梢中ほどの大きくて形の良い蕾を残す。

問い合わせ先：富山県砺波農林振興センター 園芸振興班 南條 TEL32-8112